

## 新入生のことば

やわらかな陽の光が、寒さの厳しい東北の地を暖めはじめ、ここ仙台、青葉山にも春の訪れを告げるこの季節に、私たち新入生は宮城教育大学に入学します。

本日は、私たちのためにこのような式典を挙行していただき、誠にありがとうございます。ございます。新入生を代表し、厚く御礼申し上げます。

本日、全国より集まった、教育への情熱と志を同じくする仲間とともに、大学生活のスタートを切ることができ、むらまっかし村松隆学長先生をはじめ、教職員の皆様や先輩方にお目にかかれたことを、心より嬉しく思っております。

また、本日のみならず、これからは他大学の方々、教育実習先での先生方や子どもたちなど、数えきれぬほどの出会いがあることでしょう。出会いは私たちに新たな視点や経験を与えてくれるものです。私たちはそのような出会いを大切にすると同時に、与えられるだけでなく、自らも誰かの学びのきっかけとなるような存在になろうと常に意識し、行動しなければなりません。四年間での一期一会を大切に、自らの成長の糧としたいと考えています。

今日この場に集った新入生それぞれが、胸に理想の教師像を抱いていることと 생각합니다。教育のあらゆる方面に高い専門性を有し、常に教育を創造し続ける、この宮城教育大学という恵まれた環境での時間を無為に過ごすことなく、全身全霊をもって学びに励むことを誓います。

また、異なるコース・専攻の仲間との交流も非常に楽しみにしております。互いの情報交換により、幅広い分野で教養を高め、ともに目標に向かって切磋琢磨できるように関係を築きたいと考えております。

私には、将来、故郷の気仙沼市で幼稚園教諭として働くという目標があります。

気仙沼市は2011年の東日本大震災で甚大な被害を受けました。私も含め、ほとんどの子どもたちが、決して十分とはいえない環境での学校生活を余儀なくされてきました。私は、このような被災地の子どもが、自らの苦境を乗り越えて、夢を諦める理由にすることなく、むしろ被災経験を強みに変えられるような環境づくりをしたいと考えるようになりました。そのために宮城教育大学では、自らの専門性に関わる基礎的な指導力、実践力を身につけることはもちろん、災害と教育の係性についても特に深く研究したいと思っています。発達段階それぞれに適した防災教育はどのようなものか、また、震災などで傷ついた子どもへの対応など、変わりゆく被災地の子どもたちにとって、確実な道しるべとなれる教員を目指して、自分の肥やしとなるような情報を、さらに積極的に学び続ける姿勢を大切にしたいと思います。

また、被災地だけではなく、時代の変遷と同時に、教育のあり方も変化が求められていくことでしょう。私たちは教員のたまごとして、社会情勢に敏感な嗅覚を持ち、教育に対して思い巡らせる必要があると考えます。

最後になりますが、今日この入学式を迎えるに至るまでご支援いただいた皆様に、心より感謝の意を表したいと思います。まだまだ未熟な私たちではありますが、少しずつであっても、確実に自らの道を切り拓く決意を固めて参りました。教職員の皆様、先輩方、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。宮城教育大学の一員として学べることへの感謝と、それぞれの目標に向けたたゆまぬ努力を誓い、新入生代表のことばといたします。

平成三十年 四月四日

新入生代表

初等教育教員養成課程 幼児教育コース 遠藤 志帆